

与板地域交流拠点施設整備基本構想（概要版）

1. 背景・現状等

(1) 与板地域の人口減少率は、他の支所地域より低いものの、高齢化による地域活力の低下が懸念されます。

- ① 地域の人口 6,118人（令和3年4月1日現在）
- ② 人口減少率 11.4%（過去10年間の人口減少率）
- ③ 高齢化率 約35%

(2) よいたコミュニティセンター、与板支所等の公共施設は、耐震性が不足しており、老朽化も進んでいます。

目指す地域像

- コミュニティ推進組織、支所、地域団体などが連携して地域課題解決・活性化等を促進する地域
- 住民が安全・安心に住み続け、地域の個性を活かしながら新たな価値を生み出していく地域

住民のより一層の交流・活動の場として、コミュニティ機能と支所を集約した「与板地域交流拠点施設」を整備

2. 与板地域交流拠点施設整備の方向性

(1) 計画予定地

現長岡市与板支所敷地（長岡市与板町与板甲134番地）



(2) 与板地域交流拠点施設のコンセプト

「協働によるまちづくり拠点」・「多世代交流と憩いの場」・「市民活動と学びの場」・「観光資源の情報発信拠点」をテーマに、4つのコンセプトを設定します。

【テーマ】

- 協働によるまちづくり拠点
- 多世代交流と憩いの場
- 市民活動と学びの場
- 観光資源の情報発信拠点

【コンセプト】

- ①コミュニティ推進組織、支所、地域団体等が協働して地域課題解決・活性化を促進し、住民の生活を支援するまちづくり拠点
- ②子どもからお年寄りまで、地域内外の多様な世代が集い、人の輪が広がる憩いの空間
- ③地域住民が多様に活動・交流し、与板地域に新たな活力を生み出していく活動と学びの空間
- ④与板地域の豊かな歴史・文化・芸術・伝統工芸等に身近にふれあいながら、地域の魅力を感じ、次世代に伝える情報発信拠点

(3) 与板地域交流拠点施設の規模・具体的スペース

延べ床1,500㎡～1,800㎡程度とし、施設内の各機能との一体的な利用に十分配慮して、屋外空間の有効活用を図ります。

<拠点施設の具体的スペース>

多目的交流スペース・活動ルーム・和室・図書スペース・学習スペース・音楽室・調理室・情報発信スペース・子どもの遊び場・行政等事務スペースなど

(4) 外構

交流拠点施設との一体的な利用に十分配慮して、防災広場・屋外多目的広場・駐車場を整備する必要があります。

(5) 付帯施設

支所の公用車の車庫、消防団スペース（消防団ポンプ車や消防ホース等諸機材の置場、打合せスペース等）などの付帯施設を整備する必要があります。

3. スケジュールの想定

令和4年度	現況測量等・基本設計
令和5年度	現支所除却・実施設計・造成工事
令和6～7年度	建設工事・外構工事
令和7年度	しゅん工・供用開始